



いかりや長介という
親父の背中を見て



三月十日(木)長岡京市立中央公民館三階市民ホールにて、青少年育成委員会の設けのもと、三月オープン例会が開催されました。

講師にドリフターズのいかりや長介氏を父に持ついかりや浩一氏をお迎えし、『親父の背中を見て』いかりや流人生哲学をテーマにご講演して頂きました。仕事では一切妥協をしない完璧主義者であり、家では一切を任せ、何もしないルーズな親父。そんな生活の中でいかりや長介氏は息子であり長男である浩一氏に、男としていかりや家を守って行く為に、男の背中、親父の背中、人生の先輩としての背中を見せ続けてくれました。

いかりや長介氏の五つの鉄の掟である①ありがとうが言える人間になれ②ごめんなさいが言える人間になれ③嘘をつく人間になるな④泥棒はする人間になるな⑤人に迷惑をかけるな」と言う教育方針、褒める時は心から全力で褒め、悪い事をすれば徹底的に怒る。また、人は決して一人では生きていけない。自分だけが必死で生きているのではなく、見えない所で色々な

CONTENTS

- 2 理事長対談
- 3 地域応援隊
- 3 第9回桂川クリーン大作戦

西田 敬一
平成元年7月10日生
趣味：野球スノーボードスポーツ観戦

公益社団法人乙訓青年会議所に入会し、今まで経験した事のないような事が、経験できると考えております。そこで様々な問題や壁が必ず出てくると思います。その壁を避けるのではなく、必ず乗り越え、今よりも全ての面で成長したいと考えております。それが可能な場所だと確信しています。色々な面で成長し広い意味でカッコイイと言われる様な、40歳になりたいです。

達城 英治
昭和56年3月16日生
趣味：デイキャンプペタンク

長岡京市と大山崎町で建設業を営んでおります。今回、歴史ある乙訓青年会議所の一員となれたこと大変嬉しく思います。青年会議所の様々な活動に前向き且つ真摯に取り組み、地域に少しでも貢献すると共に、自分自身の成長にもつなげてゆきたいと思っております。40歳になる頃には、多くの方々に信頼される人物になりたいです。

新入会員報告

青年会議所(JCI)とは、「明るい豊かな社会」の実現を理想とし「奉仕、修練、友情」の三信条として様々な事業や運動を行っている二十歳から四十歳までの青年経済人の集まりです。

メンバーはこの限られた時間の中で次代のリーダーを志す責任と自覚を持ち、地域の為に、そして自己の成長の為に日々活動しています。乙訓の未来を創る為に夢を語り合い、誇りを繋いでいく仲間として、共に活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。

ご興味のある方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局(〇七五―九五七―一二三〇)までご連絡下さい。お待ちしております。

QRコードはこちら

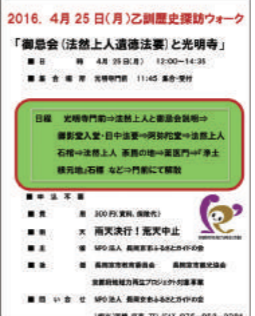
今月の乙訓のイベント

乙訓歴史探訪ウォーク
日時：2016年4月25日(月)
開演：12時～14時35分(受付・集合11時45分)
場所：光明寺門前

NPO法人長岡京市ふるさとガイドの会主催の地域力再生プロジェクト。乙訓地域の素晴らしい歴史や文化を実際に訪れながらして頂くという企画です。今回のテーマは『御忌会(法然上人遺徳法要)と光明寺』です。是非ご参加下さいませ様宜しくお願い致します。



問い合わせ
NPO法人長岡京市ふるさとガイドの会
高橋 征吾 TEL/FAX 075-953-3381



次回例会案内

2016年4月14日(木)開催
4月メモリアル100%出席例会

乙訓青年会議所の設立をお祝いすると共に、前向きに苦難を乗り越えていく気概や脈々と受け継がれてきた誇りを次代へ繋ぐ意識の醸成を図ると共に伝える力を養う事を目的として4月メモリアル100%例会を開催致します。また、100%出席例会となっておりますので、これを機にメンバー皆様のお力添えを賜り目標を達成したい所存であります



31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	4月	
	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金		
			総務財政委員会	まちづくり委員会		魅力伝播委員会				第四回理事会	資質向上委員会	青松会・青少年育成委員会	JCI運動発信委員会				四月メモリアル100%出席例会		飛竹会総会					第四回正副理事長会議	渉外交流委員会		文化少年団					
						乙訓歴史探訪ウォーク										春のおすすめ定期観光バス 向日台(たけのこ掘り体験&パーベキュー) (定員の為受付終了)												桜まつり	桜まつり			行政・他団体



地域応援隊



子どもの成長を見続けたい想いから

④松野 敬子さん
NPO法人いんふぁんと roomさくらんぼの理事であり、おとくに子育てネットとろ和乙訓じかんの編集長でもある松野さん(写真左)。活動の原点は自身の子育て経験にありました。子育てをしている中で気になった事を様々なツールから調べて課題を見つけ、そして、人との出会いにより現在に繋がっているそうです。ライター以外に研究者でもある松野さんは、関西大学大学院で遊具の安全基準におけるリスクとハザードの定義に関する一考察の論文を発表され、それに関する本も出版しておられます。身近に理念や活動拠点で共通点が多い松野さんの存在を知り、とても大きな勇気と刺激を与えられました。



ガラシャ祭の勝竜寺公園

今でこそ安らぎを感じる事が出来る公園となっていますが、勝竜(龍)寺城は有名な天王山の戦いの舞台となった城です。また、織田信長の命により、当時細川氏の城に明智光秀の三女「玉」(後の細川ガラシャ)が嫁いだ城でもある事から、「長岡京ガラシャ祭」のメイン会場となっています。ガラシャ夫人も利用したであろう井戸の地下水が利用可能な設備もあり、歴史を感じる事が出来ます。外観は城ですが、中は1階が休憩室で2階が資料の展示場となっています。入園料は無料なので、ガラシャ祭以外でも是非一度お立ち寄り下さい。



長岡京市スポーツ少年団マーチングバンド

平成2年に結成されたスポーツ少年団として活動する珍しいマーチングバンド。その当時は特定の小学校にしかマーチングバンドは無く、乙訓地域の小学生達に平等に音楽と触れ合い、音楽の楽しさを感じて欲しいという想いから結成され、現在では、ガラシャ祭りの先頭行進やふるさとふれあい駅伝や様々な大会の開会式や表彰式での依頼があり様々な場所で演奏されておられます。楽器も衣装も全て無料貸出しなので気軽に入会出来ますので、是非この乙訓新聞を見られた方は一度見学に行かれてみてはいかがでしょうか。



理事長対談 長岡京市のトップが語る「熱き想い」



松宮理事長「市長に就任して今年二年目を迎えられると、市長にいられたきっかけを教えてください。」
中小路市長「色々な人との出会いがあって、今日があると思っています。大学・大学院と政治の研究をしていましたが、前原誠司さんという衆議院議員との出会いがあって、お手伝いをする事になり、僕自身もプレーヤーとしてやりたいうという想いを持ち、府議会議員になりました。京都府下全体の状況を見渡せるというのは、非常に有り難い立場でした。その府議会議員時代に、長岡京市の強みの部分や、もつと町が良くなる為という想いが出てきたのが、市長選

に挑戦した大きなきっかけです。長岡京市の持つ持っているポテンシャルをどう生かすかがこれから問われてくると思います。」
松宮理事長「市長として住みやすいまち、住み続けたいまちに繋げる施策は考えられていますか。」
中小路市長「一つ目は子どもを育てる環境を充実させていき、二つ目は、観光や雇用の問題、交流の促進ですね。三つ目は、将来の為に今の時期にきつちりやっておかなければならない。この三つがこれからの長岡京市のまちづくりの大事な要素だろうと思っています。」
松宮理事長「その中で今現在の乙訓地域、長岡京市はどの様な位置

にいますか。」
中小路市長「僕は今でも十分魅力的なまちだと思っています。しかし、行政だけでは限界がある事は間違いありません。青年会議所の皆様は新しい事に挑戦して頂きたいです。そこで新たな価値とか魅力を生み出していくチャンスだと思っています。」
松宮理事長「乙訓青年会議所の先輩でもあり、青年会議所の存在目的や活動内容はある程度ご存知かと思うのですが、今後何かお手伝いできるとしたら、どんな事がありますか。」
中小路市長「現在も事業とかイベントの部分で十分協力して頂いていると思います。その中で、活動している人が楽しみながら色々な事業をやってもらえたら有り難いと思いますし、それを行政が色々な側面から支えていく事が理想形だと思っています。」
松宮理事長「有難うございます。最後にメッセージなどがあれば宜しくお願い致します。」
中小路市長「時代が変化している中で、突破していけるのは若い大きな力だと思っています。まっさらなページに色んな絵を描いていかなければならない時代だと思っています。過去に捕らわれず、固定観念や偏見を捨てて新しい事に挑戦して頂きたいと思っています。」

対決！料理の鉄人

二月二十一日(日)、長岡京市中央生涯学習センターにて渉外交流委員会の設えのもと、会員交流会『対決！料理の鉄人』が開催されました。

ブラジルやイスラエルなど珍しい国の料理をテーマに前菜、副菜、主菜の三品の構成での勝負で、メンバー全員で食べながら正副が審査され、ユニーク賞はメキシコ料理の総務財政委員会、理事長賞はイスラエル料理のまちづくり委員会、大賞はオランダ料理のJC運動発信委員会となりました。

料理と言う一つの課題の中で、委員会同士で話し合い協力して作っている姿は、間違いなく絆の構築へと繋がる交流会となりました。



第二十五回J.C杯争奪ケイジャーズカップ

三月十三日(日)乙訓高校にて第二十五回J.C杯争奪ケイジャーズカップ決勝戦が開催されました。中学生と高校生がバスケットボールというスポーツで優勝を目指し、この日の為に一生懸命に練習し、戦略を練って声を掛け合いながら頑張っている姿は、とても輝いていました。いつの時代も目的に向かって一生懸命になる事は素晴らしい事だと中学生や高校生に教えて頂いた一日となりました。



乙訓ギャンブラーズ

三月五日(土)、岡崎公園野球場にて乙訓青年会議所の野球同好会、乙訓ギャンブラーズと京都青年会議所のジョーカーズとの練習試合が開催されました。結果は四対五で惜しくも敗戦となりましたが、敗因を検証し更なるチームのレベルアップとチームワークの結束力に繋がったと思います。また、野球というスポーツを通じて京都青年会議所の野球チームとの交流も深まりました。



第9回桂川クリーン大作戦

二月二十八日(日)、淀川河川公園大山崎地区駐車場にて桂川クリーンネットワーク主催による第9回桂川クリーン大作戦が開催されました。

乙訓青年会議所は、まちづくり委員会の設えにより、旗を目印に集合し、沢山の市民の方々も参加されました。『きれいな川はみんなの願い』のテーマのもと、桂川をもつと綺麗にしたい心が絆となり、自然を大切に、生き物が住みやすい環境にする為に大勢の人々が自主的に動き、各エリアに別れ河川敷にあるゴミを拾い、数



時間で大量のごみが集まりました。これからも一人でも多くの方々に参加して頂きたいと思っています。

第2回ながおきよう福祉まつり

三月六日(日)、長岡京市立産業文化会館にて第二回ながおきよう福祉まつりが開催されました。

『今日の「楽しい」が明日の「福祉」になる。』をテーマに長岡京市社会福祉協議会が去年から始められました。様々な地域諸団体やボランティアで集まって頂いた方々と共に模擬店や、バザー、体験・遊びコーナーが設けられ、地域の沢山の方々が参加されました。



公益社団法人乙訓青年会議所も駐車場の案内等のお手伝いをさせて頂きました。このお祭りを通して、人との繋がりの大切さや福祉の楽しさを感じて頂けたのではないのでしょうか。